

アクレックス 3350 サンデング

仕 様 書

和信化学工業株式会社

木工塗料事業部

平成 年 月 日

アクレックス 3350 サンデング

本品は、塗料中の揮発性有機化合物(VOC)1%未満 環境対応型 水系中塗り用塗料です。研磨性、肉持ち、木材導管への流れ込み性に優れ、研磨により表面を平滑にすることで、上塗り塗布後の仕上がりを向上させます。

§ ホルムアルデヒド放散等級 F (W01181)

§ 特 長

水系なので火気の心配がありません。

臭気が少なく作業中でも気になりません。

厚生労働省指定の毒物・劇物、消防法の危険物に該当しません。(キシレン、トルエン、エチルベンゼン、ホルムアルデヒドを使用していません。)

VOC1%未満で様々な環境問題の原因となるVOCをほとんど含みません。

研磨性、肉持ち、木材導管への流れ込み性に優れ、研磨により表面を平滑にすることで、上塗り塗布後の仕上がりを向上させます。また、上塗り塗料の塗膜性能を阻害しません。

§ 用 途

巾木・廻り縁・内壁・造作家具・木床・廊下・階段などの屋内木部全般

§ 使用 方法

本品は水系の一液型塗料でありそのまま塗装できますが、必要に応じて水で希釈して下さい。また、あくまでも中塗り用塗料でありますので、仕上げ用の上塗り塗料を塗装して下さい。仕上げ用の上塗り塗料には、艶あり仕上げには「アクレックス 3400 木部用ウレタンクリアー」、艶消し仕上げには「アクレックス 3405 木部用ウレタンフラット」、半艶仕上げには「アクレックス 3402 木部用ウレタンフラット半ツヤ」をお奨めします。

§ 塗 料 性 状

外 観	乳白色半透明	乾くと半透明になります。
粘 度	20秒±2秒	4 フォードカップ / 25
密 度	1.04±0.02	ウェイトカップ / 25
不 揮 発 分	42.5%	計 算 値
保管安定性	異常なし	50 1ヶ月保管

§ 乾燥性目安

塗布量 80～100 g/m²

研磨可能時間 2時間 (気温/湿度、20 / 50%)

条件によって研磨可能時間は変わりますので参考として下さい。

§ 各種塗膜との密着性

塗料名	アレックス 3350 サン デングが上塗りの時	アレックス 3350 サン デングが下塗りの時
アレックス 3000 ホアステイン各色 (拭き取り) 原液 原液/水 = 1/1		- -
アレックス 3900 ネオステイン各色		-
アレックス 3600 アク止めシーラー		-
アレックス 3400 木部用ウレタンクリアー	-	
アレックス 3500 フロア	-	
アレックス 3520 2液フロア	-	

実際には素材、塗布量、塗り重ねる時間、その他の条件等で変化することがありますので塗布する前に確認する事をお奨めします。

は特に塗布する前に確認して下さい。(塗布後の経過時間によって変化します。)

§ 塗装工程 (例)

工程	使用塗料	塗布量	乾燥時間	塗装用具
素地調整	P150サンドペーパーで研磨			
着色	アレックス 3900 ネオステイン	50g/m ²	3～4時間	刷毛
中塗	アレックス 3350 サンデング	80～100g/m ²	3～4時間 (注1)	刷毛
研磨	P320サンドペーパーで研磨			
上塗	アレックス 3400 木部用 ウレタンクリアー	80～100g/m ²	4時間以上	刷毛

艶消し仕上げには「アレックス 3405 木部用ウレタンフラット」を、
半艶消し仕上げには「アレックス 3402 木部用ウレタンフラット半ツヤ」をお使い下さい。
塗布量は素材の吸い込み具合により大きく変わります。又、乾燥時間は
条件により変わりますので目安として下さい。

注1:乾燥時間を長く取る事によって、上塗り塗料の仕上がり感が向上します。

§ 使用上の注意

5 以下での塗装や、多湿の際の塗装は乾燥時間が極端に遅れるだけでなく、仕上がりが問題となったり、求める塗膜性能が出にくくなる場合が有りますので避けて下さい。

本品は水系塗料でありますので低温時には凍結します。凍結させますと外観が正常な状態に戻らなくなる可能性がある他、外観に問題がなくても塗膜性能が極端に低下している場合があります。凍結させないように注意して下さい。また、よくフタをし、直射日光を避けたところに保管して下さい。

作業中や養生中はできるだけ換気を良くして下さい。

刷毛などの塗装器具の洗浄は、乾かぬうちに水でよく洗ってください。乾いてしまうと水では落ちませんので、ご注意下さい。

取り扱い中は、塗料ができるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具等を着用して下さい。皮膚等に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときには、医師の診察を受けて下さい。

目に入った場合には多量の水で洗い、直ちに医師の診察を受けて下さい。誤って飲み込んだ場合も、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。

子供の手の届かないところに保管して下さい。

残塗料及び洗浄廃液は河川・下水などに捨てず、中身を使いきってから廃棄して下さい。

本来の用途以外には使用しないで下さい。

更に詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。